PARAMOUNT NEWS
パラマウントニュース
Vol.48　2023　春号

パラマウント硝子工業株式会社
https://www.pgm.co.jp
（業務推進部）
〒102−0083
東京都千代田区麹町 2-4-1 麹町大通りビル
TEL：03-4582-5370

脱炭素化を加速

ワンランク上の省エネ性能向上の実現へ
充実する省エネ住宅の優遇施策

2023年度の省エネ住宅の優遇施策がスタートした。脱炭素化の実現へ向け、家庭部門のCO_2排出抑制が大きな課題となっているなかで、省エネ住宅に対する優遇施策はかつてないと言えるほど手厚いものになっている。一歩上のZEHレベルの実現、先行する事業者にはさらに上のレベルを、といった動きを支援する制度が目白押しだ。ここでは、2023年度に行われる予定の省エネ住宅に対する主な補助制度を紹介する。

2023年度の優遇施策で、ZEHに対しては複数の補助制度が展開される。

国土交通省は子育て世帯・若者夫婦世帯によるZEHレベルの新築住宅の取得を支援する**こどもエコ住まい支援事業**を実施。「強化外皮基準かつ再エネを除く一次エネルギー消費量▲20%」に適合する住宅に対し1住戸につき100万円を補助する（図1）。

また、国土交通省は中小工務店によるZEH等の整備への支援として**地域型住宅グリーン化事業**を継続して実施する。同事業は、資材供給、設計、施工などの連携体制を構築し、省エネ性能に優れたZEHなどの木造住宅の整備などに対して支援を行うもので、補助限度額は認定長期優良住宅、ZEHとNearly ZEHは140万円／戸などとなっている（図2）。

環境省、経済産業省、国土交通省は3省連携による**戸建住宅ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）化等支援事業**を実施する。戸建住宅のZEH化注文住宅・建売住宅については、ZEHの交付要件を満たす新築住宅に対して定額補助55万円／戸、ZEH以上の省エネ性能を持つZEH＋の戸建住宅に対しては100万円／戸を補助する。

ZEHの〝その先〟を見据えた補助事業も実施する。国土交通省は、ライフサイクル全体（建築から解体・再利用まで）を通じたCO_2排出量をマイナスとするLCCM住宅に対し補助を行う**LCCM住宅整備への支援**を行う。強化外皮基準（ZEH水準の断熱性能）を満たし、一次エネルギー消費量が省エネ基準値から25%削減されていることなど、要件を満たした住宅に対し、設計費と補助対象工事の掛かり増し費用の1／2を補助する。限度額は戸建住宅で140万円／戸だ。

省エネリフォームを3省連携で促進

2023年度の優遇施策で例年以上に手厚いのがリフォームへの支援である。

まず、その目玉と言えるのが、**こどもエコ住まい支援事業**（国土交通省）、一定の基準を満たす高断熱窓の設置に対して補助を行う**先進的窓リノベ事業**（経済産業省）、エネファームやハイブリッド給湯器などの高効率給湯器を補助する**高効率給湯器導入促進による家庭部門の省エネルギー推進事業費補助金（給湯省エネ事業）**（経済産業省）という3つの補助事業の総称として展開する**住宅省エネ2023キャンペーン**だ（図3）。

家庭部門の省エネを強力に推進するため、国土交通省、経済産業省、環境省の3省が連携し、住宅の省エネリフォームを支援する取り組みである。専用のWebページ（https://jutaku-shoene2023.mlit.go.jp/）を設け、情報を集約しているほか、3事業をワンストップで申請できるようにした。それぞれの補助事業の併用も可能となっている。

良質な住宅ストックの形成などに資するリフォームへの支援としては、**長期優良住宅化リフォーム推進事業**を継続して実施する。同制度は、①インスペクションを実施し、維持保全計画・履歴を作成すること、②工事後に耐震性と劣化対策、省エネルギー性が確保されること、という2つの要件を満たすリフォームに対して補助を行うもの。補助率は1／3、補助限度額は100万円／戸だが、長期優良住宅（増改築）認定を取得する場合は200万円／戸となる。その他、要件により加算もある。

そのほか、リフォームに対する支援では、国土交通省が、ZEHレベルの高い省エネ性能へ改修する取組に対して、支援を行う**住宅エコリフォーム推進事業**もある。補助限度額は戸当たり35万円。経済産業省は、省エネ改修の促進が期待される工期短縮可能な高性能断熱材などの導入に対し補助を行う**次世代省エネ建材の実証支援**を予定している。

図1 こどもエコ住まい支援事業の新築の概要

子育て世帯・若者夫婦世帯による住宅の新築住宅

対象住宅	補助額
○ZEH住宅 （強化外皮基準かつ再エネを除く一次エネルギー消費量▲20%に適合するもの） ※対象となる住宅の延べ面積は、50㎡以上とする。 ※土砂災害特別警戒区域における住宅は原則除外とする。 ※「立地適正化計画区域内の居住誘導区域外」かつ「災害レッドゾーン（災害危険区域、地すべり防止区域、土砂災害特別警戒区域、急傾斜地崩壊危険区域又は浸水被害防止区域）内」で建設されたもののうち、3戸以上の開発又は1戸若しくは2戸で規模1000㎡超の開発によるもので、都市再生特別措置法に基づき立地を適正なものとするために行われた市町村長の勧告に従わなかった旨の公表に係る住宅は除外とする。	100万円／戸

図2 地域型住宅グリーン化事業の補助対象と補助限度額

地域型住宅グリーン化事業
地域型住宅の整備

補助対象と補助限度額	認定長期優良住宅	140万円／戸 等
	ZEH、Nearly ZEH	
	認定低炭素住宅	125万円／戸 等
	ZEH Oriented	
加算措置	① 地域材加算ｗ	30万円
	② 地域住文化加算	20万円
	③ 三世代同居／若者・子育て世帯加算	30万円
	④ バリアフリー加算	30万円

図3 住宅省エネ2023キャンペーンの概要

対象

工事内容		補助対象	補助額
①省エネ改修	1）高断熱窓の設置※1,3	高性能の断熱窓 （熱貫流率（Uw値）1.9以下等、建材トップランナー制度2030年目標水準値を超えるもの等、一定の基準を満たすもの）	リフォーム工事内容に応じて定める額 （補助率1/2相当等） 上限200万円／戸
	2）高効率給湯器の設置※2,3	高効率給湯器 （(a)家庭用燃料電池、(b)ヒートポンプ給湯機、(c)ハイブリッド給湯機）	定額 (a)15万、(b)(c)5万円
	3）開口部・躯体等の省エネ改修工事※4	開口部・躯体等の一定の断熱改修、エコ住宅設備（節湯水栓、高断熱浴槽等）の設置	リフォーム工事内容に応じて定める額 上限30万円／戸＊ ＊子育て世帯・若者夫婦世帯は、上限45万円／戸（既存住宅購入を伴う場合は60万円／戸） ＊安心R住宅の購入を伴う場合は、上限45万円／戸
②その他のリフォーム工事※4 （①1）～3）のいずれかの工事を行った場合に限る）		住宅の子育て対応改修、バリアフリー改修、空気清浄機能・換気機能付きエアコン設置工事等	

※1 住宅の断熱性能向上のための先進的設備導入促進事業等（経済産業省・環境省）による支援
※2 高効率給湯器導入促進による家庭部門の省エネルギー推進事業費補助金（経済産業省）による支援
※3 補正予算案閣議決定日（令和4年11月8日）以降に契約を締結し、事業者登録後（こどもみらい住宅支援事業の登録事業者は、※1又は※2の事業の事務局開設日（令和4年12月16日）（開設日以降に登録申請した場合は、その申請の日）以降）に着工したものに限る。
※4 こどもエコすまい支援事業（国土交通省）による支援。補正予算案閣議決定日（令和4年11月8日）以降にリフォーム工事に着手したものに限る（交付申請までに事業者登録が必要）。

TOPICS

【フラット35】の新築住宅、4月から省エネ基準適合が要件化

（独）住宅金融支援機構

【フラット35】のすべての新築住宅で、2023年4月以降の設計検査申請分から現行の省エネ基準への適合が要件化された。2025年度からの省エネ基準適合義務化に先立ち行われるもの。新築住宅で【フラット35】を利用する場合は、現行の省エネ基準への適合が必須となる。

https://www.flat35.com/business/standard/energy.html

省エネ基準・誘導基準の仕様基準のガイドブックをWebに公開

国土交通省

省エネ基準と誘導基準の仕様基準のガイドブックを作成し、Webで公開した。仕様基準は、省エネ計算を行わずに、断熱材の種類や厚さ等の仕様で省エネ基準や誘導基準の適否を確認できる基準。ガイドブックは、木造戸建住宅（8地域は木造・RC造戸建住宅）を対象に、省エネ基準と誘導基準の2つに分けて、それぞれの仕様基準を簡単に確認する方法を説明している。

https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/04.html#cont1

PICK UP

住宅省エネ2023キャンペーン／こどもエコすまい支援事業

こどもエコすまい支援事業の新築、住宅省エネ 2023 キャンペーンの開口部・躯体等の省エネ改修工事では、グラスウールを使って支援を受けられます！

エネルギー価格高騰の影響を受けやすい子育て世帯・若者夫婦世帯による高い省エネ性能（ZEH レベル）を有する新築住宅の取得や、住宅の省エネ改修等に対して支援することにより、子育て世帯・若者夫婦世帯等による省エネ投資の下支えを行い、2050 年のカーボンニュートラルの実現を図る事業として、こどもエコすまい支援事業が開始されました。

新　築　100万円補助されます！

高い省エネ性能（ZEHレベル）を有する住宅

強化外皮基準に適合するためには以下の断熱仕様を推奨します。

1・2地域

		木造軸組構法		
		製品名	断熱材種類	厚さ [mm]
天井		ニューダンブロー	LFGW1852	400
壁		太陽SUNR(SRJ)	GWHG20-35	105
床	大引間	太陽SUNR(SRJ)	GWHG20-35	105
	根太間	太陽SUN(SS)	GWHG16-38	50
開口部	窓	熱貫流率1.60[W/(㎡·K)]_日射熱取得率0.39[W/(㎡·K)]		
	ドア	熱貫流率1.60[W/(㎡·K)]		
土間	玄関	外気·室内側共に3.57[㎡·K/W]		
	浴室	外気·室内側共に3.57[㎡·K/W]		

3地域

		木造軸組構法		
		製品名	断熱材種類	厚さ [mm]
天井		太陽SUN(SS)	GWHG16-38	155
壁		太陽SUNR(SRJ)	GWHG20-35	105
床		露断プレミア／露断ピンレス	GW32-36	80
開口部	窓	熱貫流率1.90[W/(㎡·K)]_日射熱取得率0.39[W/(㎡·K)]		
	ドア	熱貫流率1.90[W/(㎡·K)]		
土間	玄関	外気·室内側共に—[㎡·K/W]		
	浴室	外気·室内側共に3.57[㎡·K/W]		

4地域

		木造軸組構法		
		製品名	断熱材種類	厚さ [mm]
天井		ハウスロンZERO(HZS)	GWHG16-38	155
壁		ハウスロンZERO(HZS)	GWHG16-38	105
床		露断プレミア／露断ピンレス	GW32-36	80
開口部	窓	熱貫流率2.33[W/(㎡·K)]_日射熱取得率0.51[W/(㎡·K)]		
	ドア	熱貫流率2.33[W/(㎡·K)]		
土間	玄関	外気·室内側共に—[㎡·K/W]		
	浴室	外気·室内側共に1.70[㎡·K/W]		

5・6・7地域

		木造軸組構法		
		製品名	断熱材種類	厚さ [mm]
天井		ハウスロンZERO(HZS)	GWHG16-38	155
壁		ハウスロンZERO(HZS)	GWHG16-38	105
床		露断プレミア/露断ピンレス	GW32-36	80
開口部	窓	熱貫流率2.33[W/(㎡·K)]_日射熱取得率0.51[W/(㎡·K)]		
	ドア	熱貫流率2.33[W/(㎡·K)]		
土間	玄関	外気·室内側共に—[㎡·K/W]		
	浴室	外気·室内側共に1.70[㎡·K/W]		

【計算条件】 自立循環型住宅への設計ガイドライン（1～3地域は寒冷地モデル住宅）（4～7地域は温暖地モデル住宅）を使用し、木造2階建て延床面積:120.07㎡の条件にて試算。
評価協【H28】木造戸建住宅＿標準入力型　Ver2.4　「C(基礎) シートの ＜ 基礎壁·基礎等 ＞ の熱損失は旧計算法」による。

木造枠組壁工法は
右記のQR コードから！

リフォーム　最大60万円補助されます！

子育て世帯※1または若者夫婦世帯※2なら

	外壁	屋根·天井	床
ZEHレベル	15万1千円／戸（7万5千円／戸）※	5万4千円／戸（2万7千円／戸）※	9万2千円／戸（4万6千円／戸）※
省エネ基準レベル	11万2千円／戸（5万6千円／戸）※	4万円／戸（2万円／戸）※	6万9千円／戸（3万4千円／戸）※

※1 子育て世帯とは、申請時点において、2004年4月2日以降に出生した子を有する世帯です。
※2 若者夫婦世帯とは、申請時点において夫婦であり、いずれかが1982年4月2日以降に生まれた世帯です。

＋加算補助額（詳しくは弊社HPのこどもエコすまい支援事業ページから「リフォーム対象要件」と「補助額·補助上限」をご覧下さい）

※（　）は部分断熱の場合の補助額。

主な製品型番一覧

製品型番	断熱材区分（A-1～F）	断熱材の種類	製品名·製品愛称	厚さ [mm]	熱抵抗値 [㎡·K/W]	熱伝導率 [W/(m·K)]
1PGMSRJ89	C	グラスウール断熱材　高性能品 GWHG20-35	太陽SUNR（SRJ系）	89	2.5	0.035
1PGMSRJ105	C	グラスウール断熱材　高性能品 GWHG20-35	太陽SUNR（SRJ系）	105	3.0	0.035
1PGMSRJ120	C	グラスウール断熱材　高性能品 GWHG20-35	太陽SUNR（SRJ系）	120	3.4	0.035
1PGMSRJ140	C	グラスウール断熱材　高性能品 GWHG20-35	太陽SUNR（SRJ系）	140	4.0	0.035
1PGMSS89	C	グラスウール断熱材　高性能品　GWHG16-38	太陽SUN	89	2.3	0.038
1PGMSS90	C	グラスウール断熱材　高性能品　GWHG16-38	太陽SUN	90	2.4	0.038
1PGMSS105	C	グラスウール断熱材　高性能品　GWHG16-38	太陽SUN	105	2.8	0.038
1PGMSS120	C	グラスウール断熱材　高性能品　GWHG16-38	太陽SUN	120	3.2	0.038
1PGMSS140	C	グラスウール断熱材　高性能品　GWHG16-38	太陽SUN	140	3.7	0.038
1PGMSS150	C	グラスウール断熱材　高性能品　GWHG16-38	太陽SUN	150	3.9	0.038
1PGMSS155	C	グラスウール断熱材　高性能品　GWHG16-38	太陽SUN	155	4.1	0.038
1PGMSS180	C	グラスウール断熱材　高性能品　GWHG16-38	太陽SUN	180	4.7	0.038
1PGMSS200	C	グラスウール断熱材　高性能品　GWHG16-38	太陽SUN	200	5.3	0.038

製品型番	断熱材区分（A-1～F）	断熱材の種類	製品名·製品愛称	厚さ [mm]	熱抵抗値 [㎡·K/W]	熱伝導率 [W/(m·K)]
1PGMHZD89	C	グラスウール断熱材　高性能品　GWHG24-35	ハウスロンZERO（HZD系）	89	2.5	0.035
1PGMHZD105	C	グラスウール断熱材　高性能品　GWHG24-35	ハウスロンZERO（HZD系）	105	3.0	0.035
1PGMHZS89	C	グラスウール断熱材　高性能品　GWHG16-38	ハウスロンZERO（HZS系）	89	2.3	0.038
1PGMHZS90	C	グラスウール断熱材　高性能品　GWHG16-38	ハウスロンZERO（HZS系）	90	2.4	0.038
1PGMHZS105	C	グラスウール断熱材　高性能品　GWHG16-38	ハウスロンZERO（HZS系）	105	2.8	0.038
1PGMHZS155	C	グラスウール断熱材　高性能品　GWHG16-38	ハウスロンZERO（HZS系）	155	4.1	0.038
1PGMHZL100	B	グラスウール断熱材　高性能品　GWHG10-45	ハウスロンZERO（HZL系）	100	2.2	0.045
1PGMRLY80	C	グラスウール断熱材　通常品　GW32-36	露断ピンレス	80	2.2	0.036
1PGMRXY80	C	グラスウール断熱材　通常品　GW32-36	露断プレミア	80	2.2	0.036

上記以外の製品型番は
右記のQR コードから！

断熱材の 1 戸あたりの最低使用量

※（　）の数値は部分断熱の断熱材使用量。
※1 断熱材区分「A-1」～「C」と、断熱材区分「D」～「F」の双方を用いる場合は、断熱材使用量の算出にあたり、断熱材区分「D」～「F」の使用量に1.5を乗じたものを断熱材区分「A-1」～「C」の使用量に合算して計算することができます。
※2 部分断熱の場合は、間仕切壁を含みます。
※3 部分断熱の場合において、最上階以外の天井を断熱化した場合は、「床」の断熱材最低使用量を適用します。
※4 基礎断熱の場合の最低使用量は、床の最低使用量に0.3を乗じた値とします。
※5 基礎断熱の場合の最低使用量は、床の最低使用量に0.15を乗じた値とします。

ZEHレベル

断熱材の区分※1	熱伝導率 [W/m·K]	[一戸建て]断熱材最低使用量[m³] 外壁※2	天井·屋根	床※3	[共同住宅]断熱材最低使用量[m³] 外壁	天井·屋根	床
A-1、A-2、B、C	0.052～0.035	11.0(5.5)	12.0(6.0)	6.0※4(3.0)	3.1(1.6)	8.0(4.0)	5.0※5(2.5)
D、E、F	0.034以下	7.0(3.5)	8.0(4.0)	3.0※4(1.5)	1.9(1.0)	5.7(2.9)	2.3※5(1.2)

省エネ基準レベル

断熱材の区分※1	熱伝導率 [W/m·K]	[一戸建て]断熱材最低使用量[m³] 外壁※2	天井·屋根	床※3	[共同住宅]断熱材最低使用量[m³] 外壁	天井·屋根	床
A-1、A-2、B、C	0.052～0.035	6.0(3.0)	6.0(3.0)	3.0※4(1.5)	1.7(0.9)	4.0(2.0)	2.5※5(1.3)
D、E、F	0.034以下	4.0(2.0)	3.5(1.8)	2.0※4(1.0)	1.1(0.6)	2.5(1.3)	1.5※5(0.8)

リフォームの概要については
下記の QR コードから！

さらに詳しい情報は、弊社ホームページの「こどもエコすまい支援事業」のページをご覧ください。
＊「こどもエコすまい支援事業」に関する情報は2023年3月6日現在の情報をもとに制作されております。補助金の交付を保証するものではありません。